

令和2年度事業報告等について

【事業報告】

事業の展開

- ① 社会福祉法人和楽会は「己の和」「連帯の和」「地域との和」を基本理念とし、これらの和の三原則により生まれる調和が、私たちの求めていく福祉です。この三原則に則り、入居者様、利用者様により良いサービスの提供に努めた。特に特別養護老人ホーム、短期入所生活介護事業部においては「入所者様に寄り添った支援を目指す～ゆっくり・やさしく・穏やかに～」を、通所介護事業部においては「和楽うデイサービス～和む・楽しむ・笑うの3つを目指す～」を基本方針に掲げサービスの提供に努めた。
- ② 社会福祉法人を取り巻く環境は日々変化しており、また、社会福祉法人に期待される役割はますます大きくなっている。このような状況に対応していくため、社会福祉法人が今後取り組むべき中長期計画（5か年）の策定に取り組んだ。
- ③ 経営課題を人材育成と捉えて、職員の自己成長が実感できる仕組み、将来の自分像を描くことのできる人事評価及びキャリアパス制度の円滑な遂行に取り組んだ。
- ④ 介護職員の人材確保は、最近の求人情報を見てみると求人倍率が4倍近くになっている。人材確保が喫緊の課題となっていることから、人材確保に向けた取り組みを加速した。
- ⑤ 特別養護老人ホーム和楽荘は、平成28年12月に新施設となり4か年が経過した。施設の長寿命化を目指し適切な維持管理に努めた。
- ⑥ 災害時等において近隣住民への自主避難所として施設の提供に努めた。
- ⑦ 日本国内外で感染者が拡大した新型コロナウイルス感染症患者の発生が続いている。新型コロナウイルスを施設に持ち込まないことで利用者、入居者の安全、安心の確保に努めた。

【決算報告】

事業活動計算書

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

(単位:千円)

勘定科目	決算
サービス活動収益計	501,609
サービス活動費用計	540,824
サービス活動増減差額	△39,215
サービス活動外収益計	3,385
サービス活動外費用計	2,752
サービス活動外増減差額	633
経常増減差額	△38,582
特別収益計	0
特別費用計	1,096
特別増減差額	△1,096
当期活動増減差額	△39,678
前期繰越活動増減差額	946,232
次期繰越活動増減差額	906,554

資金収支計算書

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

(単位:千円)

勘定科目	決算
事業活動収入計	504,994
事業活動支出計	485,072
事業活動資金収支差額	19,923
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	25,674
施設整備等資金収支差額	△25,674
その他の活動による収入計	737
その他の活動支出計	1,831
その他の活動資金収支差額	△1,094
当期資金収支差額合計	△6,845
前期末支払資金残高	441,715
当期末支払資金残高	434,869

貸借対照表

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

(単位:千円)

勘定科目	決算
資産の部	
流動資産	441,920
固定資産	1,048,353
基本財産	736,157
その他の固定資産	312,196
資産の部合計	1,490,273
負債の部	
流動負債	28,002
固定負債	307,248
負債の部合計	335,250
純資産の部	
基本金	234,768
国庫補助金等特別積立金	701
その他の積立金	13,000
次期繰越活動増減差額	906,554
次期繰越活動増減差額	906,554
(うち当期活動増減差額)	△39,678
純資産の部合計	1,155,023
負債及び純資産の部合計	1,490,273

和楽会への苦情について

- 令和2年度、社会福祉法人和楽会への苦情は、特養1件、短期入所0件、通所6件、居宅0件、訪問0件、包括0件の合計7件ありました。
苦情は担当事業所にて会議を開き、今後改善するよう職員に周知徹底しました。
- 事業報告等の詳細については、独立行政法人福祉医療機構（ワムネット）のホームページより、社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムウェブサイトにて公表しております。